

桂川だより

28年度 2月
後期学校評価特別号
京都市立桂川小学校
校長 奥田 直孝



第2回子ども育みアンケート結果より

日頃は、本校の学校教育にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。1月に実施いたしました「子ども育みアンケート」の結果をお知らせいたします。

今年度は、京都市の学校教育の重点、及び、本校の学校教育目標に照らし合わせた項目を設定し、「保護者」「児童」「教職員」それぞれの自己評価という形でのアンケートとしています。3者がそれぞれに自分自身の取組やかかわりを振り返ることで、子どもたちの豊かな学びと育ちが実現できればと考えています。

この結果・考察を生かし、教職員一同、今後の教育活動をより充実したものにしていきたいと考えています。今後ともご協力、よろしくお願ひいたします。

～大好き桂川校～

学校教育目標

めざす子ども像

「みんなと高まり合い 学びつづける子」

か かんしゃする子
つ つよい心と体の子
ら らしさを認め合える子
が 学習に進んで取り組む子
わ わかるように伝え合う子



アンケート結果の概要

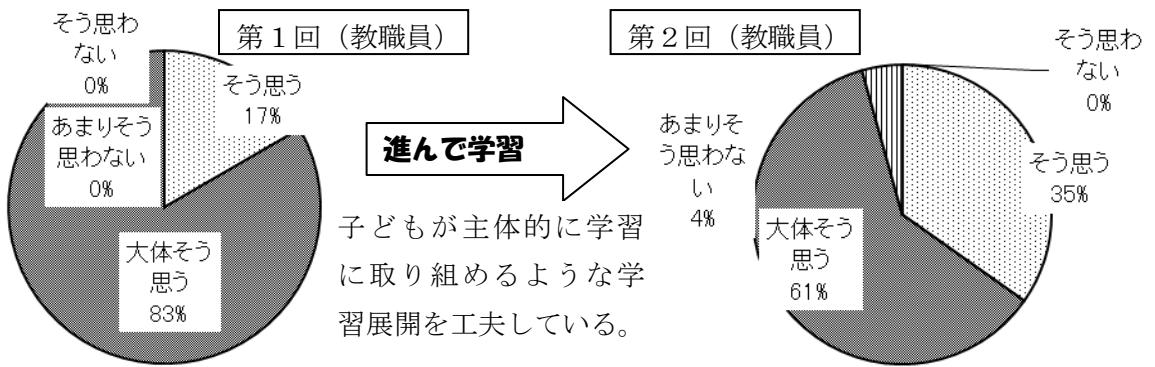
- 児童については、第1回と比べてほとんどの項目で若干の低下が見られます。このことは、昨年度の第1回・第2回の比較でも見られたことであり、頑張ってないというよりもむしろ、具体的なめあてをもって頑張り、今の自分に満足せずさらに高いレベルをめざしているからこそその結果ではないかととらえています。昨年度第2回と比較してみると、低下したのは「早寝・早起き」、同じスコアだったのが「授業中進んで話したり書いたりしている」「進んで勉強している」の2項目、その他は全て上昇しています。このことから、少しずつではありますが、よい方向に向かっていると考えます。スコアの低かった項目については、裏面で分析していきたいと考えます。
- 保護者については、第1回と第2回でほぼ変化のない項目が多かったですが、「あいさつ」の項目についてはスコアの上昇が大きかったです。家庭でもあいさつについて意識していただいていることの証しであり、大変ありがたいことであると感じています。
- 教職員については、全体にスコアが上がっている項目が多く、第1回のアンケートでの振り返りを生かして取組を見直し、意識して教育活動の改善を図ってきた結果であると考えています。それぞれの取組の中で効果のあったものについて共通理解し、取組をさらに充実させていきたいと考えます。
- 児童のスコアが最も高かった項目が、「友だちを大切にし仲よくしている」であり、この項目が保護者について最も高いスコアを示し、教職員についても上昇していることは、大変うれしいことです。互いを思いやり支え合う関係ができてきているということは、学校教育目標「みんなと高まり合い 学びつづける子」の実現につながるものであり、めざす子ども像の「らしさを認め合える子」を3者が意識して取り組んできたことの結果であると考えます。

アンケート結果集計表

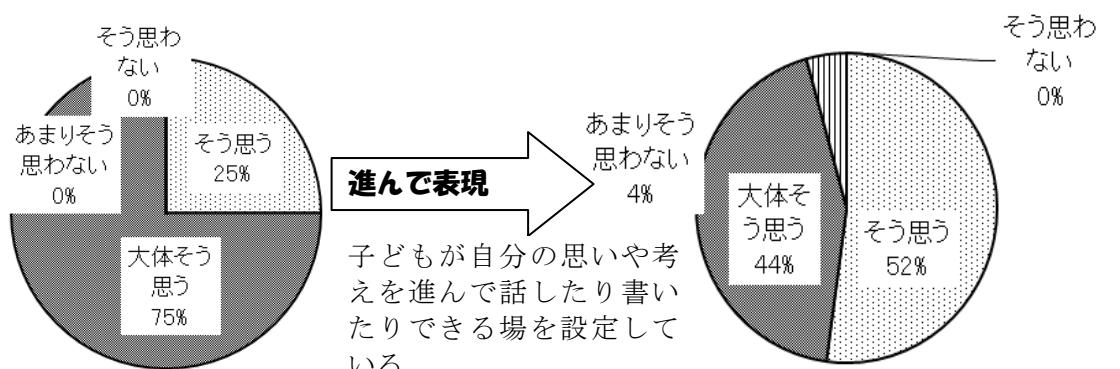
質問ごとの回答の平均値を最高7点のスコアで表示した表です。保護者・児童・教職員の3者を第1回と第2回で比較してみました。大数字は0.3以上上がった項目、網掛は0.3以上下がった項目です。児童のスコアが高かった項目から順に載せています。(児童のカッコ内は昨年度第2回のスコア)

質問項目(保護者)	保護者		児童		教職員		質問項目(教職員)
	第1回	第2回	第1回	第2回	第1回	第2回	
わが子が友達を大切に仲よくするよう働きかけている。	6.2	6.4	6.6	6.5 (5.4)	4.4	5.4	互いに思いやり、支え合う学級づくりができる。
わが子が楽しく通学できるよう、学校での楽しかったことを中心に家庭で話題にしている。	5.7	5.7	6.3	6.2 (6)	5.6	5.8	全ての子どもが、楽しく学校生活を送れるよう環境づくりをしている。
わが子が学習を理解しているかを把握している。	5.1	5.2	6	5.9 (5.8)	5.4	5.4	分かる授業の工夫と実践を日々行っている。
わが子にきまりや約束を守ることの大切さを話している。	6.3	6.2	6	5.9 (5.7)	5.6	5.4	子どもが、きまりや約束を守って生活できるよう桂川 standard の実践を進めている。
わが子に、家庭学習の習慣がつくよう働きかけている。	5.3	5.3	5.9	5.8 (5.7)	4	4.6	子どもが、進んで家庭学習に取り組むような課題を工夫して与えている。
家族間であいさつをするよう心がけている。	6.1	6.4	6	5.8 (5.7)	6.3	6	子どもが、自分からあいさつできるよう、自ら気持ちのよいあいさつを心がけている。
子どものよさを認め、ほめている。	5.6	5.6	5.8	5.8	6.1	6	子どものよさを積極的に見つけ、ほめている。
わが子が、できるだけ自分で考えて判断できるように働きかけている。	5.6	5.6	5.9	5.7 (5.6)	5.2	5.6	子どもが、自分で考え、正しく判断できるような支援をしている。
わが子が授業中進んで話したり書いたりするよう励ましている。	4.9	5	5.5	5.2 (5.2)	5.3	5.5	子どもが、自分の思いや考えを進んで話したり書いたりできる場を設定している。
わが子が本をよく読むように勧めている。	4.8	4.8	5.3	5.2 (4.4)	4.2	4.6	子どもに、読書習慣が身につくよう、読書指導をしている。
わが子が、早寝・早起きをし、毎日朝ごはんを食べるようしている。	6	6	5.4	5.2 (5.3)	4.7	4.6	子どもに、早寝・早起き・朝ごはんなどの基本的な生活習慣が身につくような働きかけをしている。
わが子が進んで学習に取り組むよう励ましている。	5.3	5.2	5.4	5 (5)	5.1	5.2	子どもが主体的に学習に取り組めるような、学習展開を工夫している。
HPやお便りを見て、学校の様子や教育方針をわかっている。	5.2	5.2			5	5.2	HPや通信で、学校の様子や教育方針を保護者に伝えている。
学校や地域の行事にできる範囲で参加するようにしている。	5.1	5			4.7	4.7	保護者や地域の方々と交流を深め、地域行事に参加している。

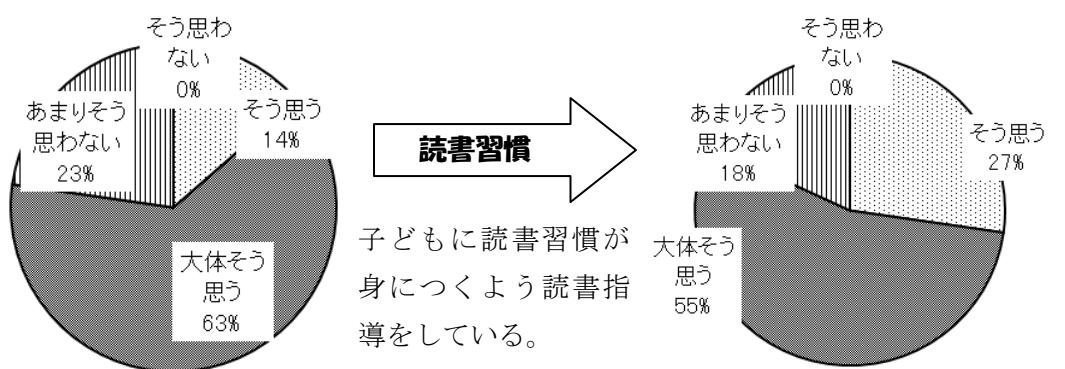
今回、特に児童の自己評価が低かった3つの項目について、学校での取組がどうであったかを分析するため、教職員評価の変化を詳しく見ていきます。



教職員の取組及び意識としては、進んで学習に取り組む子をめざして、学習展開を工夫することに努めてきましたが、子どもたちの意識としては、「自分から進んで勉強している」ところまでは至っていないようです。めざす子ども像「**がく**習に進んで取り組む子」を子どもにもさらに意識付けて、取組を進めていきます。



授業中に、子どもが思いや考えを表現できる場を意図的に設定するようになってきていますが、その手立てだけでは、進んで表現できる子の育成には不十分かも知れません。今後は、話したり書いたりすることの楽しさを感じさせつつ、表現への意欲を高めていきたいと考えます。



読書習慣への取組については、朝の読書タイムの設定や読書週間の取組など、年間を通して取り組んできました。しかし、学年によって取組にばらつきがあったり、他の活動を優先させてしまうことがあったりするなど、まだまだ改善の余地があると考えます。読書に対する興味に個人差も大きいため、個に応じた指導を充実させるなど、工夫して指導していきたいです。

自由記述より（抜粋）

- このアンケートを通して、改めて、母親として子どもに働きかけをしていないなと感じさせられました。家事ばかりに時間を持っているだけでなく、同時に、子どもへの働きかけをしなくてはと反省です。
- 学習発表会での表現力の豊かさや歌の上手さに今年も感動しました。皆真面目にまっすぐ育っているなと感心します。このままのびのびと輝き、成長してほしいと切に願います。
- 学習発表会ですが、今年はあまりにも短く、見応えがないように感じました。
- 学校教育目標の内容や、それに向けての取組をされていることがよいと思います。
- 学校内をもう少しきれいに掃除するよう指導してほしい。
- 冬だけでなく、年間を通して持久走の練習をしてもらいたいです。
- 授業前の絵本の読み聞かせや親子読書、ぐんぐんタイムがいいと思います。
- 先生の言葉遣いがていねいだと思います。教室のどこからか若者言葉のようなものが聞こえてくると、正しい日本語に訂正もしてくださっているようです。
- 毎年トイレ掃除へ行きますが、臭いもすごいし、便器の汚れも汚すぎます。毎日掃除してほしいです。
- 子どもに対してとても丁寧に指導していただいて感謝しています。運動の機会を増やしてほしいです。
- 基礎をしっかり学習できている点がいいです。きちんと話を聞く、約束を守るなど社会習慣も身に付き楽しい学校生活が送れていると思います。
- 参加型の参観日がとてもよかったです。
- 入学してから何度も上級生にやさしくしてもらった話を聞いていて、温かい学校だと感じます。
- 教科ごとに担当の先生がおられ、学年全体の先生で子どもたちを見ていただいていると思います。
- 自主学習が習慣になった。学校で働きかけてくださる成果だと思います。朝読書も読書習慣になっています。
- H Pで学校の様子がよく分かり子どもと一緒に見て思い出して話してくれるでの会話も増えています。
- 週末の作文の宿題で、少しづつ考えて書けるようになっています。読む力・書く力がつくような取組を今後も続けていただきたいと思います。

学校運営協議会理事会（2月21日）でいただいたご意見より

- 図書館活動部会は、今年度初めて、朝読書の時間に、高学年への読み聞かせを実施した。中間休みの読み聞かせは低学年が多いので、楽しさを重視した絵本を選んでいるが、高学年へは、楽しいだけではなく「考える絵本」という視点で本選びをしている。
- 友達を大切にしている様子は、下校時の子どもたちを見ていてもわかる。男女関係なく仲よく楽しそうに帰ってくる。あいさつについては、自分からあいさつしてくれる子もいれば、話に夢中でこちらからの声かけにも答えない子もいる。個人差が大きいと感じる。
- 放課後まなび教室では、子どもとの関係づくりを大切に、できるだけ連続して関わるようスタッフシフトを組んでいる。子どもは、自分をよく見ててくれる人に心を開くと感じている。
- トイレについては、きれいな使い方や、汚した時の対処法の指導も学校・家庭の両方でしっかりといていきたい。PTA古紙回収収益で、小便器をプッシュ式に改修するので、臭気と汚れは軽減される。
- 教室の床の研磨は今後2年間で完了予定。（春休み中4年教室実施）

